

◆ごみの訪問収集時の「声かけ」を始めています

小林ぜんいちが平成26年 第3回定例会で提案した地域での高齢者の見守り活動をより充実させていくため、希望者に安否確認を目的としたごみの訪問収集時の職員による「声かけ」を始めました。

区は今年7月20日より高齢又は障害があることにより自らごみを集積所まで持ち出すことが困難でありかつ、身近な人の協力を得られない世帯を対象に職員による安否確認の「声かけ」を実施しています。詳細お問い合わせは清掃事務所へ。



◆小学校の通学路へ「防犯カメラ」を設置

小林ぜんいちが平成26年第3回定例会で提案した学校と地域等が連携して実施している登下校時の見守り活動を補完し、通学路の安全対策を充実させるため、小学校の通学路に防犯カメラの設置が始まります。

■設置校

平成27年は13校を予定(中野神明、中野本郷、江古田、上高田、大和、多田、若宮、江原、新山、武蔵台、西中野、上鷺宮、白桜)

平成28度は12校を予定(桃園、桃園第二、塔山、谷戸、鷺宮、啓明、向台、北原、新井、桃花、平和の森、緑野)



◆マイナンバー制度が始まりました

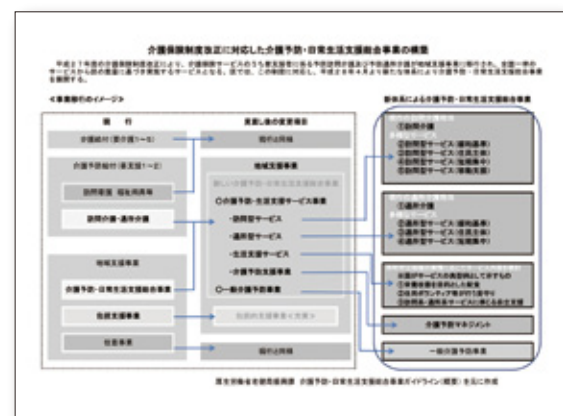


(内閣府ホームページから)

◆高齢者総合窓口が区役所2階に設置

区は、9月より後期高齢者医療及び介護保険の手続き等を、来庁者が窓口を移動せずに1か所でできる高齢者総合窓口を本庁舎2階に設置しました。

◆介護予防・日常生活支援が平成28年4月より新たな体系で始まります



(区民委員会資料より)

小林 ぜんいち

■議会役職等

公明党議員団副幹事長
議会運営委員会副委員長
区民委員会委員

区役所及び体育館整備調査特別委員会委員
中野区土地開発公社評議員
中野区民生委員推薦委員会委員

■経歴

宮本忠長建築設計事務所東京事務所に16年勤務、TAF設計事務所に勤務。
住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等設計監理や住宅設計等に従事。



■所属団体等

(社)日本建築学会正会員
(社)東京建築士会正会員
福祉住環境コーディネーター協会会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士会会員
早稲田大学稲門建築会会員
中野稲門会会員
中野区長野県人会副会長

HOMEPAGE

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト

サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi
Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi
Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

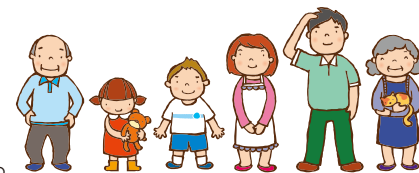
小林ぜんいち NEWS

— KOMEITO —
公明党

第18号

2015年11月発行
中野区公明党議員団

地域の「小さな声」を区政へ



中野区議会は、第3回定例会・決算特別委員会が先日散会しました。私は、決算質問の他に、学校・子育て・図書館行政、中野のまちづくり、防災対策などについて質問をしました。中野区では、私達が提案してきた子ども・子育て支援として、「妊娠・出産・子育てトータルケア事業」をこの10月から始めました。妊娠期、産後育児期おける細やかな支援として、妊娠婦さんに対して医療職が面接する機会を増やし、出産・育児に関する個別の支援プランの提供などを行います。各すこやか福祉センターでは、こうした妊娠から出産、育児までの切れ目のない支援を行いながら、「育児パッケージ」の活用も始まりました。これからも地域を歩きながら、お一人おひとりの大切な身近な「小さな声」をお聞きしながら、区政へ届けて参ります。



熱きハートで、区政を改革 小林 ぜんいち



にぎわいフェスタ



大田区視察



豊島区目白小学校ガン教育視察



東京河川改修促進連盟総会、促進大会



東部演芸大会



軽井沢駅中図書館視察



平和の集い2015



富山県高岡市視察



岐阜県岐阜市視察

中野区議会 議会報告 平成27年 第3回 定例会 決算特別委員会



総括質疑(2015.9.17)

総括質疑項目

1.平成26年度決算について

- 1) 歳入・歳出等について
- 2) 義務教育基金につて

2.学校・子育て・図書館行政について

- 1) いじめ防止への取り組みと今後の対策について
- 2) 保育園について
- 3) 図書館利用について
- 4) 国立国会図書館資料(デジタル資料化)の閲覧について

3. 中野のまちづくりについて

- 1) 国家戦略特区制度について
- 2) ごみ屋敷の対策について

4. 防災対策について

- 1) 避難所運営について
- 2) 豪雨等による水害対策について
- 3) 小型無人機「ドローン」の運用について

5.その他

- 1) 中野区産業振興推進機構について
- 2) なかのゼロホール西館の昇降機設備設置について

小林ぜんいち 平成27年 第3回定例会 決算特別委員会 総括質疑

平成26年度決算について

小林 平成26年度は経常収支比率や実質公債費比率などの財政指標も改善されており、地方債残高は増加していますが、それ以上に積立基金残高が増加しており、財政の健全性が進んでいると読み取れます。財政調整基金の年度間調整を見積もる際、区は予算編成時に基準となる一般財源額を定め、歳出をその範囲に合わせている。そこで、歳入が多い時にはその超過額について、財政調整基金や他の基金に積み立てることはあるのか、伺う。

答弁 予算編成時における一般財源の超過額については、義務教育施設整備基金など、目的、計画に応じて積み立てるものを優先している。

小林 26年度決算のように、実質収支がある程度まとまって出る際には、義務教育施設整備基金に積み立てを行ってはどうか、伺う。

答弁 同基金は、当初予算において一定確保するとともに、教育施設の用地の売却等があった場合、その収入を財源として積み立てを行っている。学校の新築・改修などの経費は、決算の状況を踏まえた上で剰余金の積み立ても考えている。

図書館利用で未返却に対する対応について

小林 中野区内の図書館には、97万冊の蔵書が有る。その内、昨年度の未返却冊数と被害額はどのくらいか。未返却に対して、窓口対応を含め貸し出しの抜本的に改善の取り組みを行うべきではないか。



答弁 昨年度の未返却は1000冊弱、催促や新規購入で約190万円の経費が掛かっている。返却期限の厳守、延滞者への催促、利用マナーの向上などを含めて検討していく。

小林 国立国会図書館以外では入手困難な137万点に及ぶ明治以降の貴重な資料や、絶版になった書籍などを国立国会図書館の承認を受けた公立図書館で利用出来るサービスを提供している。この「国立国会図書館デジタル資料送信サービス」の閲覧等を区民が気軽に利用の出来る地域図書館7館でも受けられるようにしてはどうか、伺う。

答弁 地域図書館7館でのサービス提供については、区民のニーズや運営体制等の費用対効果も含めて検討したい。

国家戦略特区制度について

小林 特区の指定をきっかけに思いきったまちづくりの可能性は高まったと思う。この制度をうまく活用し、経済の活性化やグローバル化の推進に取り組むべきと考える。視察した大田区蒲田・さかさ川地区の「おいしい道計画」は、「エリアマネジメントの民間開放(道路占有事業)」そのものでありました。こうした取り組みを特区になった中野区でも今こそ取り組むべきと考えますが、いかがお考えか、伺う。

答弁 通常の道路占用と違い、特区ではエリアマネジメント組織による収益事業と公益への還元が求められ、その主体をどう構築していくか、検討中です。

小林 もう一つの国化戦略特区の規制緩和策に「滞在施設の旅館業法の適用除外(民泊)」があるが、具体的にはどのような状況にあるのか。中野の資源の一つにバックパッカー宿が有るが、展開の可能性は有るのか、伺う。

答弁 空き部屋などを旅館業法の適用を除外して滞在施設にするには、事業者の認定、手続きに関する条例化が必要。先行地域の状況を捉えながら検討していく。

小林 中野を地政学的に捉えてみると、東京における政治や経済の中心・重心は山手線を中心にした東部地域にあり、新宿より西側の地域は重心から大きく外れた位置にある印象を持つ。しかしそこに広がる市場は大変大きなものであり、ポテンシャルを秘めていると思う。中野はこの西部地域に伸びる影響力、発信力を持つべき場所と考える。中央線沿いを軸とした、経済や文化活動を繰り広げる「東京西部中央線都市圏」、「東京オレンジライン・プラン」として「新たな顔」を中野区がリードして形成していくような壮大な構想を作り上げてはどうか、伺う。

答弁 中央線沿線から多摩にかけひとつの経済圏を発展させていくことが重要と思う。職住近隣型のまちづくりを進めながら、さらに、利便性の高い中央線で結ばれている地域間の連携を模索したい。

「ごみ屋敷」への対策をおこなうべきではないか



小林 住宅などにごみを運びこみ、家からからごみがあふれ、お隣のお宅や道路にまで散らかり、悪臭や害虫などに近隣の方々が悩まされているケースがある。

住まいの周辺で環境的にも影響の出る、いわゆる「ごみ屋敷」がある。、「ごみ屋敷」は「空き家」とともに大きな生活環境の課題になっている。「ごみ屋敷」で火災が発生し、隣接した住宅やアパートに延焼した事案があった。近隣住民の方々は、防火・防犯・環境面に対して苦慮している。「ゴミ屋敷問題」には、強制力を持って解決する方策をつくるべきではないか。

答弁 所有権、財産権、公共の福祉等を整合させるなど、条例化による規制等も視野に入れ検討したい。

なかのゼロホール西館に昇降機設置を

小林 中野ZERO西館の小ホール部分には現在専用の昇降機設備がないため、高齢者や障害をお持ちの方から利用しにくいとの声を頂く。平成28年度に予定されている大規模改修にあわせ、高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進、バリアフリー等の観点からも小ホールの施設内に昇降機の設置を行うべきではないか、伺う。

答弁 北側の玄関を入り、左手の1階玄関ホールから2階に至るエレベーターなら設置の可能性があると考える。